



# 学校だより

令和5年 9月 29日  
発行  
文京区立汐見小学校  
校長 山田 晴康

## 「何のために？」と考える、行動する

校長 山田 晴康

まだまだ暑さが残り、熱中症への対応が必要な日も多くありますが、時々校庭を吹き抜けるひんやりとした風は、体に心地よく、秋がすぐそこまできていることを感じさせてくれます。

2学期が始まり、ひと月が経ちますが、どの学年の子供たちも、1学期より大きく成長していることが見て取れます。一例を挙げると、「何のために？」と考えながら行動する姿が多く見られるようになってきたことです。

9月8日（金）9日（土）に、4年生が防災宿泊学習を行いました。自分たちが被災したとき、どのように行動していけばよいか、どのように周りの方々と協力していけばよいかなど、事前学習で課題を設定し、当日それら確かめる体験活動を実施しました。



毛布でガウンを作っているとき、また、新聞紙でスリッパを作りながら、「この工夫で、自分たちの命、そして安全を守るんだね。」などと話している声が聞こえてきました。また、アルファ米と水の夕食を終えた後は、「もっと食べたいけれど、被災したらそういうわけにはいかないよね。」などのつぶやきが聞こえて

きました。しっかりとこの防災宿泊体験の意味を考え、「何のために？」を理解した上で行動している4年生の姿に、大きな成長と頼もしさを感じました。10月も、子供たち自身が、常に「何のために？」と自分自身に問いかけ、すすんで考えながら行動することができるように、励まし、応援し、支えてまいります。ご理解・ご協力をお願いします。

## 10月行事予定

## 生活目標

## みんなで使う物を大切にしよう

月	火	水	木	金	土	日
						1
2 全 八ヶ岳移動教室始 (5年)	3 国	4 読 八ヶ岳移動教室終 (5年) 保幼小中合同交流日 5時間授業	5 算	6 読	7	8
9 スポーツの日	10 国 避難訓練	11 読 区小研 4時間授業	12 算 安全指導日 学校保健委員会	13 読	14	15
16 全 読書旬間始 クラブ活動	17 読	18 読 校内研 4時間授業	19 読	20 児 児童集会	21	22
23 全	24 読 なかよし班活動	25 読	26 読 区陸上記録会 (6年)	27 読 区陸上記録会予備日 読書旬間終	28	29
30 全 委員会活動	31 国	11/1 読 区小研 4時間授業	2 算 汐見表現の日 係児童打ち合わせ	3 文化の日	4	5

全：全校朝会

読：読書活動

算・国：けやきタイム

儀：儀式的行事

児：児童集会

## 《4年生 防災宿泊の思い出》

4学年担任

9月8日(金)～9日(土)で防災宿泊体験学習を行いました。4年生にとっては初めての宿泊行事でした。ロープワークでは外れにくい結び方とされている「もやい結び」を学びました。難しい結び方でしたが、根気よく練習したので講習の終わりには素早く結べるようになりました。ロープワークの後には日本赤十字社の方々から新聞紙で作るスリッパのつくり方や毛布で暖が取れるガウンのつくり方を教わりました。

また、首都直下型地震への対応方法の映像を見たり防災備蓄倉庫を見学したりして、防災への意識を高めていました。

夜は非常食のわかめご飯をおいしそうに食べて教室で毛布にくるまって寝ました。友達と過ごす夜は良い思い出になったようです。



## 《なかよし班オリエンテーリングラリーについて》

特別活動担当

9月21日(木)の2・3校時に、「なかよし班オリエンテーリングラリー」がありました。汐見小学校の先生たちからのミッションやゲームを、1年生から6年生の全校児童がたてわり班で力を合わせてクリアしていきました。高学年の児童は、低学年の児童に優しく声をかけ活動していて、みんなで楽しむことができた時間となり、学校中が温かい雰囲気となりました。

6年生を中心に振り返りを行い、どの児童も、次の活動への意欲を高めることができました。6年生が会を進める姿勢は、汐見小学校のリーダーそのものでした。



## 《汐見表現の日について》

学芸的行事委員会担当

今年度の汐見表現の日は、11月17日(金)・18日(土)に開催します。17日(金)は、児童鑑賞日とし、全校が体育館に集まって発表したり鑑賞したりします。18日(土)は、保護者鑑賞日とし、子供たちの学習の成果をご覧いただけるように計画しています。この日は、多くの保護者の方に参観いただけるよう、またゆとりをもってご覧いただけるように2学年での入れ替え制とし、人数制限は設けません。また、今年度は、全学年が音楽の発表を行います。内容は、クラス合奏・歌唱奏や鍵盤ハーモニカ(またはリコーダー)奏・斉唱や合唱です。子供たち一人一人の頑張りがよりよく伝わるように、合奏はクラスごとに行うこととしました。演奏する曲はクラスごとに違いますので、バリエーションに富んだ発表になることと思います。拍を感じて表現したり、旋律の感じが生きるように表現を工夫したりと、日頃の学習の積み重ねを大切にしたいと思っています。

今後、詳細のご案内やプログラムなどを配布する予定です。子供たちの明るい歌声や音で満ちる素敵な日になるよう、ご理解とご協力のほどお願いいたします。

